

事業所名 放課後等デイサービススクールハウス

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念	すべての子どもが、自分らしく安心して過ごせる居場所を。そして、一人ひとりの可能性を信じ、共に育ち合う地域を。					
支援方針	一人ひとりの個性や発達の特徴を尊重し、安心できる環境の中で、遊びや学び、ICTを活用した活動を通じて子どもたちの成長を支援します。自己肯定感を育み、日常生活に必要な力を身につけられるよう支援を行います。家庭・学校・地域と連携し、子どもが地域の中で自分らしく生き生きと過ごせるよう、共に育ち合う場を目指します。					
営業時間	11 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	日常生活に必要な基本的な生活習慣（食事・排泄・睡眠・清潔など）の定着を目指し、安定した生活リズムの獲得を支援します。安心・安全な環境の中で、自分の身の回りのことを自分でできる力を育て、健康的な生活の基盤づくりを行います。体調管理や自己理解にもつなげ、健やかな成長を支えます。				
	運動・感覚	粗大運動や微細運動、バランス感覚や感覚統合に配慮した遊びや活動を通じて、身体の動きや感覚の調整力を高めます。ボール遊びや運動道具、制作活動などを取り入れ、楽しみながら身体を動かす機会を提供し、自信や集中力の向上を図ります。				
	認知・行動	見たり聞いたりした情報を理解し、適切に行動する力を育てます。ルールや順序の理解、課題解決の方法など、考える力を養い、場面に応じた行動ができるよう支援します。ICTも活用しながら、視覚的な手がかりやスモールステップでの取り組みにより、達成感を積み重ねます。				
	言語コミュニケーション	子どもの発達段階に応じて、言葉の理解と表出を支援します。会話のやりとり、意思表示、質問や返答の練習など、日常生活で必要なコミュニケーション力を育みます。ICT機器や視覚教材を活用し、多様な方法で表現できる力を引き出します。非言語の表現にも配慮します。				
	人間関係社会性	他者との関わりの中で、挨拶、順番、ルールの理解など、集団生活に必要な社会性を育てます。小集団活動やごっこ遊び、イベントなどを通じて、思いやりや共感の気持ちを育み、豊かな人間関係の土台を作ります。安心できる関係の中で、他者との関わりを楽しめるよう支援します。				
家族支援	保護者との信頼関係を大切にし、日々の様子や困りごとを共有しながら、子育ての不安を軽減できるよう支援します。	移行支援	就学・進学・放課後の過ごし方など、次のステップに向けた準備を支援します。			
地域支援・地域連携	子どもたちが地域の中で安心して暮らせるよう、地域住民や関係団体と協力しながら、地域ぐるみでの見守りや支援を行います。学校、行政など地域の関係機関と密接に連携し、子どもや家庭を多面的に支援します。	職員の質の向上	職員一人ひとりの専門性と支援力の向上に努めます。定期的な内部研修や外部研修への参加を通じて、発達支援や障がい特性への理解を深め、実践力を高めます。			
主な行事等	春・夏・冬休みにはお出かけ会を実施し、公共施設や自然の中での体験を通じて、社会性や協調性を育みます。花見やバーベキューでは交流も図ります。秋にはハロウィーン、冬にはクリスマス会など、季節のイベントを楽しみながら、思い出に残る経験を積み重ねていきます。					